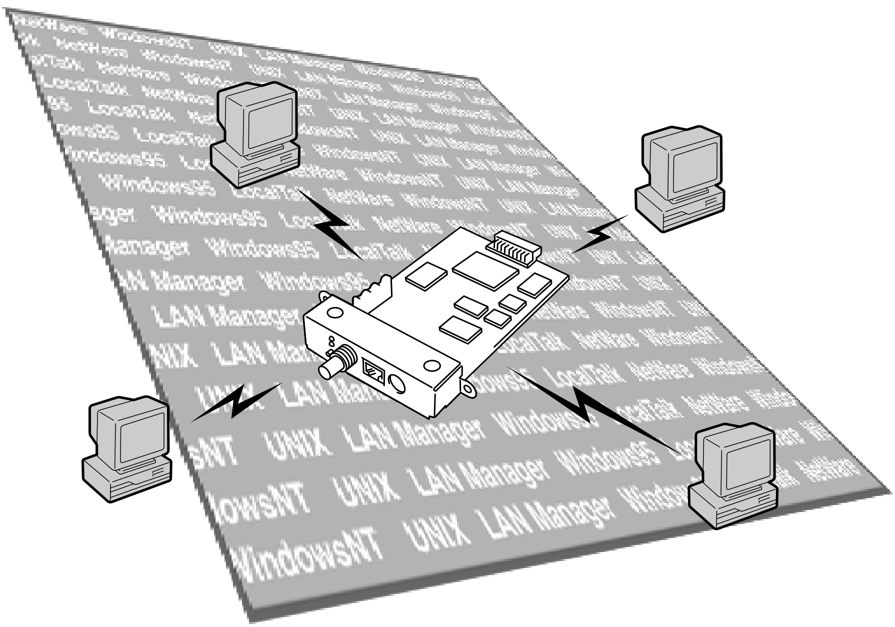
NEC

PC-PR-L01

マルチプロトコルLANボード

取扱説明書



808-883006-001
初版

商標について

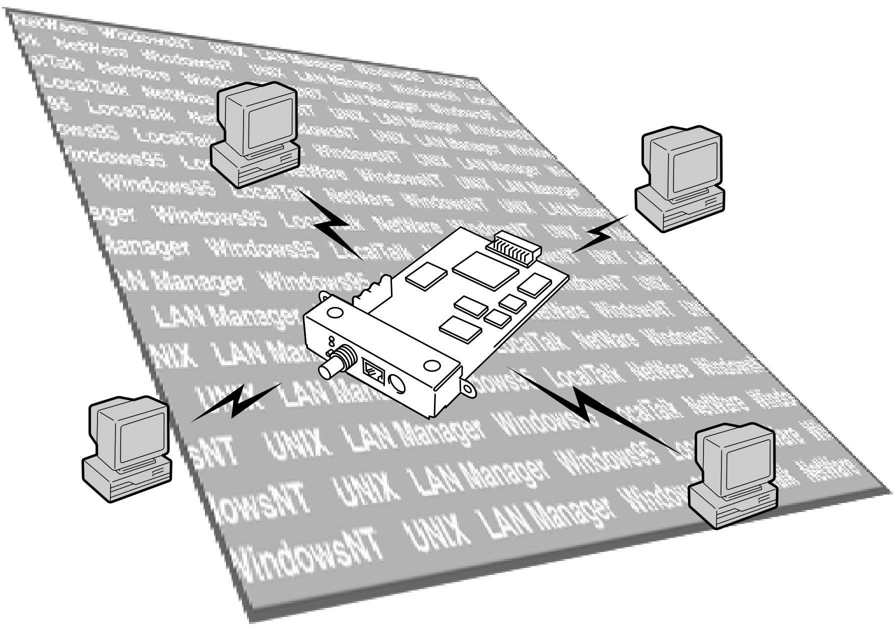
Microsoftとそのロゴおよび Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
IBM、PC/AT、LAN Serverは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
NetWareおよびNOVELLはNovell, Inc.の登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
Macintosh、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、QuickDrawは米国およびその他の国で登録された米国Apple Computer Inc.の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

PC-PR-L01

マルチプロトコルLANボード

取扱説明書



初版　1997年6月

所有権通告および責任の制限

本書に記載されている設計および関連資料などの情報は、すべてNEC(弊社)および個々のライセンス保有者の貴重な財産です。弊社およびライセンス保有者は、本書の設計、製造、複写から使用、販売権に至るまで本書に関するすべての特権、著作権、およびその他の所有権を保有します。ただし、書面により上記の権利を他社へ譲渡することを認可している場合は、この限りではありません。

ただし、各製品の実際の性能は、システム構成、顧客データ、オペレータ制御などの要因によって決定されます。製品導入環境は顧客によって異なるため、特定製品の構成およびアプリケーションソフトウェアの適性は、弊社でなくお客様によって決定されることになります。

設計および仕様の改善を可能にするため、通知なしに本書の内容を任意に変更することがあります。弊社の許可なく本書の一部または全部の複製・転載を禁じます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア)は、日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく本書および添付ソフトウェアの複製・改変を行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが，万一ご不審な点や誤り，記載もれなどお気づきのことがありましたら，お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 本製品(ソフトウェアを含む)が有する機能の中には使用する環境よってはサポートされない場合があります。
6. 本製品を運用した結果の影響・不利益については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびはマルチプロトコルLANボードをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボードはNECのプリンタをネットワークプリンタとしてご使用になれるようにするためのネットワークボードです。

このLANボードを取り付けたプリンタは、ネットワーク上のすべてのユーザーが使用できるようになります。

ネットワーク環境を正確に構築するためにも、本書の説明に従ってLANボードを正しく取り扱ってください。

本書の読み方

本書はPC-PR-L01 マルチプロトコルLANボードをプリンタに取り付けて、プリンタをネットワークプリンタとして正しくご使用になるための手引き書です。

本書は、ネットワークシステム管理者(アドミニストレータ)を対象として書かれています。本書を参照してプリンタをネットワークにインストールする場合は、ネットワーク環境やネットワークOSなどについての予備知識が必要です。
もし、アドミニストレータ以外の方がインストールをするときはご利用になるネットワークのアドミニストレータと相談の上、インストールを行ってください。

本書の読み方を次に示します。

初めにお読みください

読み分けてください

ネットワークプリンタとしての設定は、ご使用になるオペレーティングシステム(OS)によって異なります。本書では、OSごとに分けて設定方法を説明しています。

必要に応じてお読みください

画面上の文字の表記について

本マニュアルではメニュー、ボタン、ダイアログボックスなど、画面上に表示される文字を原則として角カッコ([　])で囲んで示します。アクセスキー(ショートカットキー)やダイアログボックスが表示されることを示す「...」は表記していません。

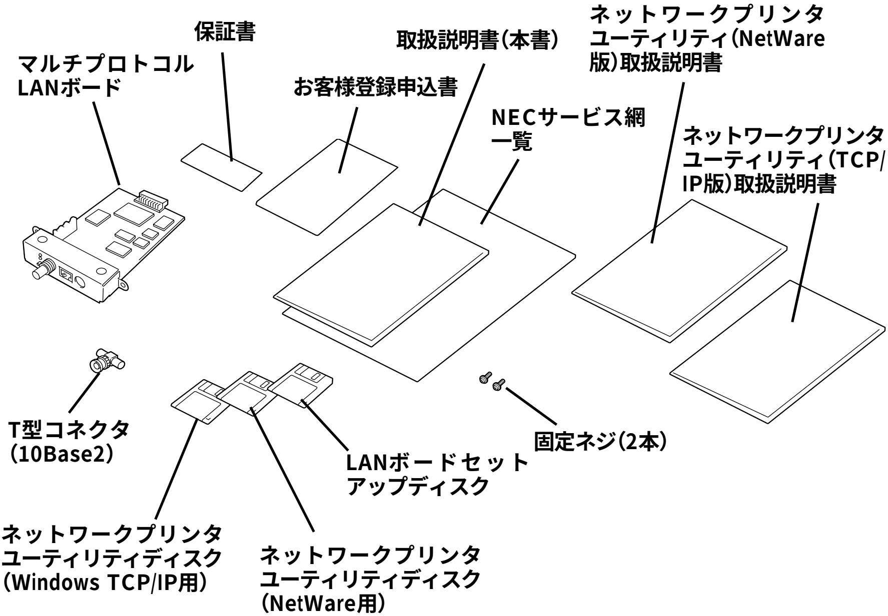
(例)　[ﾌﾟﾘﾝﾀ番号]ボタン、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]ダイアログボックス

本文中の記号について

本文中の記号「　」はLANボードの取り扱いやセットアップを行う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。注意を守って取り扱ってください。

箱の中身について

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、お買い上げの販売店に連絡してください。



- **本製品にはLANケーブルは添付されておりません。「取り付けと接続」を参照して、適切なLANケーブルを別途お求めください。**
- **保証書とNECサービス網一覧表は、アフターサービスをお受けになられるときに必要になりますので、大切に保管してください。**
- **お客様登録申込書は所定の事項を記入の上、登録センターへお送りください。**
- **添付のフロッピィディスクのバックアップディスクを作成してください。**

目　次

知っておきたいこと

取り付けと接続

セットアップ　～NetWare編～

セットアップ　～Windows NT編～

セットアップ　～Windows 95編～

セットアップ　～LAN Manager編／LAN Server編～

セットアップ　～UNIX編～

SNMP MIB-II,ホストリソースMIBサポートオブジェクト一覧

故障かな？と思ったら

アフターサービスについて

知っておきたいこと

PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボードは、Ethernet(B4680II)でのLANおよびMacintoshネットワークにNECプリンタを接続するためのネットワークボードです。

特　長

プリンタ内蔵型でさまざまなネットワークインタフェースに対応

プリンタに内蔵されるため設置場所を必要としません。また、LANインタフェースとして、Ethernet(10Base2/10Base-T)およびLocalTalkに対応しています。

各種ネットワークOSに対応

次のネットワークOSに対応し、様々なLAN環境で使用することができます。

- NetWare
- Windows NT
- Windows 95(peer to peer)
- LAN Manager／LAN Server
- UNIXシステム
- Macintosh LocalTalkネットワーク
- Macintosh EtherTalkネットワーク

Macintoshコンピュータから印刷する場合は、別売の拡張プリンタドライバをインストールすることによりQuickDrawプリンタとしてご使用になれます。

将来のアップグレードに対応可能

フラッシュメモリを搭載していますので将来のプログラムのアップグレードにも対応できます。

使用上のご注意

LANボードを取り扱うときは次の点について注意してください。

警告

LANボードはプリンタ内部に取り付けます。プリンタに取り付けるときは、プリンタの電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
電源コードを接続したままプリンタ内部の部品に触ると感電するおそれがあります。

- プリンタを確認する

  プリンタに添付のマニュアルを参照して、プリンタのオプションとして本ボードを取り付けられることを確認してください。

- 静電気に注意する

  LANボードは大変デリケートな電子部品です。プリンタの金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからボードを取り扱ってください。

- 持ち方に注意する

  ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品やコネクタと接続する部分には触れないようにしてください。

- 手順に従ってプリンタに取り付ける

  プリンタへの取り付け手順はプリンタに添付のマニュアルで詳しく説明しています。プリンタのマニュアルも併せて参照してください。

- 指定のLANケーブルを使用する

  本書で指定しているLANケーブルを使用してください。

- ネットワーク管理者(アドミニストレータ)が作業をする

  ボードを取り付けたプリンタのネットワークへのインストールは、ネットワーク管理者が行ってください。

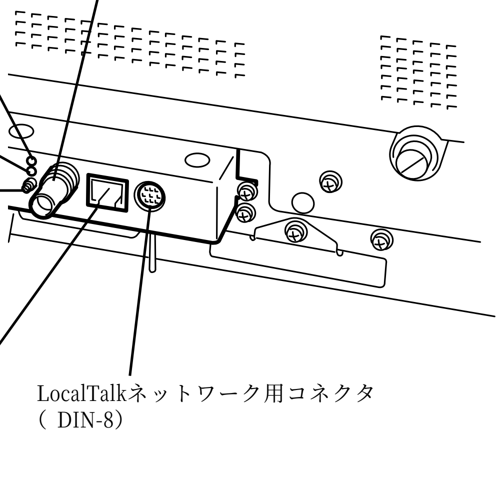
- NetWare環境で使われる場合

  ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境で本製品を使用する場合は、遠隔地のNetWareサーバのSAP情報を受信

後、そのNetWareサーバに定期的に接続を行い、回線利用料金を増加させる場合があります。このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANボードを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、ネットワークプリンタユーティリティ(添付の取扱説明書(NetWare版)の「管理者ユーティリティ」の「NetWare設定ウィンドウ」を参照)を使って接続するファイルサーバを特定してください。

各部の名称

LANボードの各部の名称を示します(プリンタに取り付けた状態で示しています)。



動作環境

LANボードを取り付けるとプリンタは、次のネットワーク環境で動作します。

Ethernet（B4680II）

- シンワイヤEthernet（10Base2）
- ツイスティドペアEthernet（10Base-T）

Ethernetでは各ネットワークOSごとに、次のようなフレームタイプに対応しています。

MacintoshからEtherTalkで印刷するには別売の拡張プリンタドライバが必要です。

フレームタイプ			
IEEE 802.2	**IEEE 802.3**	**Ethernet II**	**SNAP**
NetWare（IPX/SPX）			
Windows NT（DLC）	LAN Manager（NetBEUI）	UNIX（TCP/IP）	Macintosh（EtherTalk）
		Windows NT（TCP/IP）	
		Windows 95（peer to peer）（TCP/IP）	

LocalTalkネットワーク

LocalTalkネットワークでは、MacintoshのLocalTalkをサポートしています。

MacintoshからLocalTalkで印刷するには別売の拡張プリンタドライバが必要です。

取り付けと接続

LANボードのプリンタへの取り付けとネットワークへの接続方法について説明します。

プリンタへの取り付け

LANボードの取り付けには次のものが必要です。

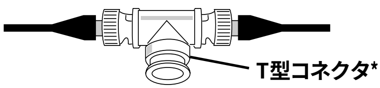
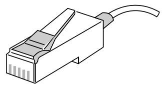
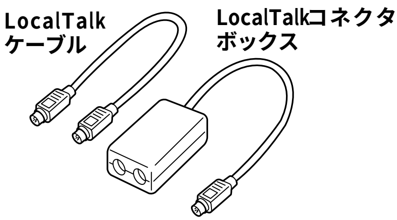
- LANボード
- ネジ(2本。LANボードの添付品)
- 本書
- プリンタのユーザーズマニュアル

以上のものを用意したら、プリンタのユーザーズマニュアルの「オプション」の章にある手順に従ってLANボードを取り付けてください。

マルチプロトコルLANボードをプリンタに取り付けると、プリンタのセントロニクスインタフェースコネクタが使用できなくなる場合があります。詳しくは、プリンタのユーザーズマニュアルを参照してください。

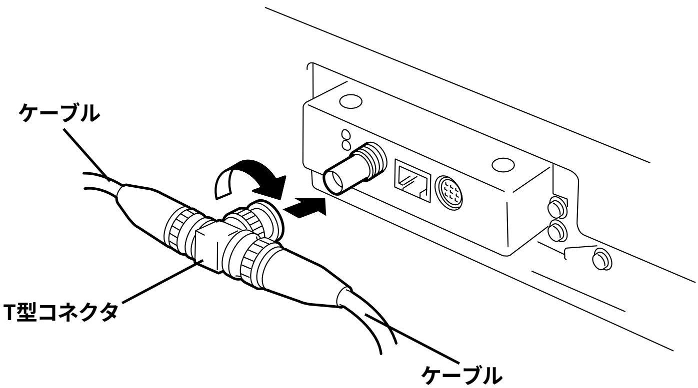
ネットワークへの接続

LANボードには、ネットワークに接続するインタフェースを3種類用意しています。ケーブルは添付されていませんので、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、いずれかのケーブルをLANボードに接続してください。

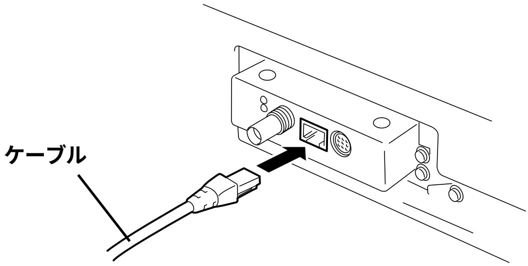
ケーブルタイプ	コネクタの形状	型　番
Ethernet (10Base2)		PC-9867-21 PC-9867-22 PC-9867-23
Ethernet (10Base-T)		PC-9868-21 PC-9868-22 PC-9868-28 PC-9868-29
LocalTalk		Apple社製ロッキング コネクタキット DIN-8

*　Ethernet(10Base2)ケーブルどおしの接続およびプリンタへの接続時に使用するT型コネクタはLANボードに添付のものを使用してください。

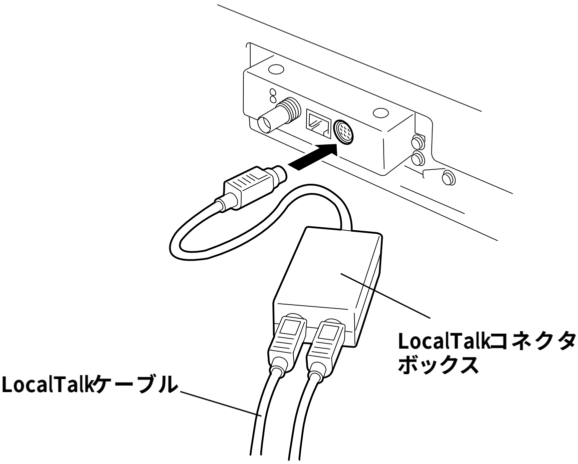
Ethernet(10Base2)に接続する場合



Ethernet(10Base-T)に接続する場合



LocalTalkに接続する場合





- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンタの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンタの誤動作の原因となります。
- プリンタは電源をONにするとき、10Base2コネクタと10Base-Tコネクタの両方にケーブルを接続していると誤動作の原因となりますのでどちらか1つのコネクタにのみケーブルを接続してください(LocalTalkケーブルは接続したままでもかまいません)。
- Macintoshコンピュータから印刷する場合は、別売の拡張プリンタドライバが必要です。

コンフィギュレーションページの印刷

ネットワークケーブルの接続が終わったら、プリンタの電源スイッチをONにしてください。
電源ON後、プリンタが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったら、コンフィギュレーションページ印刷ボタンを押して、コンフィギュレーションページを印刷します。

コンフィギュレーションページを印刷する前に用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、プリンタのユーザーズマニュアルを参照してセットしてください。

しばらくすると、ネットワークに関するプリンタの設定状況が印刷されます。このコンフィギュレーションページを参照して各ネットワークOSへのセットアップをしてください。
また、ネットワークへのセットアップ後やプリンタの設定を変更した後は必ずコンフィギュレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

次にコンフィギュレーションページの印刷例を示します。

```
NEC LAN Board Configuration Page

Release XX.XX X NEC Ethernet 1183J
(C) Copyright 1992-1997 ITC Ltd.

Node Address :             XX:XX:XX:XX:XX:XX

IPX/SPX (NetWare)

Printserver Name :         "NP_XXXXXX"
Fileserver Limited :       ""
Remote Printer Mode :      Disabled
Remote Printer Number :    0
Ext. Function :            Disabled
Total Servers Found :      0
Total Servers Logged :     0
Total Queues Logged :      0
Logged as Rprinter #:      --
Fileserver logon time :    5

DLC (WindowsNT)

Name :                     "XX:XX:XX:XX:XX:XX"

NetBEUI

Name :                     "NP_XXXXXX"

AppleTalk

Name :                     "NP_XXXXXX"
EtherTalk Zone:            "*"
AppleTalk Entities :       "LaserWriter"
                           "ITC_Responder"

TCP/IP

IP Address :               11.22.33.44
Subnet Mask :              255.0.0.0
Auto IP Address :          Enabled
```

ネットワークOSへのセットアップ

コンフィギュレーションページを出力後、それぞれのネットワークOSへのセットアップを行います。次の表を参照して、該当するページに進んでください。

ネットワークOS	プロトコル	参照ページ
NetWare 3.11J／3.12J NetWare 4.1J／4.11J IntranetWare(4.11J)	IPX/SPX	11ページ
Windows NT 3.1(日本語版) Windows NT Advanced Server 3.1(日本語版)	DLC	35ページ
Windows NT 3.5 Server(日本語版) Windows NT 3.5 Workstation(日本語版) Windows NT 3.51 Server(日本語版) Windows NT 3.51 Workstation(日本語版) Windows NT 4.0 Server(日本語版) Windows NT 4.0 Workstation(日本語版)	DLC TCP/IP	
Windows 95(日本語版)	TCP/IP	55ページ
LAN Manager 2.1(日本語版) LAN Server 3.0(日本語版)	NetBEUI	63ページ
UNIX	TCP/IP	69ページ
Macintosh*	AppleTalk	—

* Macintoshへのセットアップについては、別売の「拡張プリンタドライバ」に添付のマニュアルを参照してください。

セットアップ　～NetWare編～

この章では、NetWare環境に合わせてプリンタを設定する方法について説明します。設定の際には、NetWareのマニュアルも参照してください。

ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANボードを使用する場合は、次のことにご留意ください。

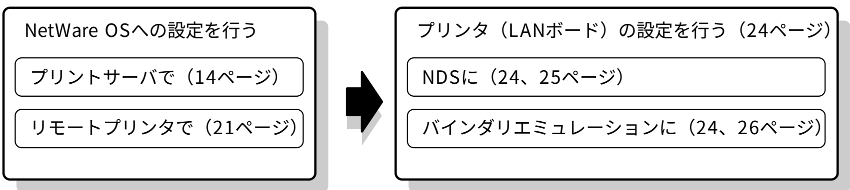
マルチプロトコルLANボードを、遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。

このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANボードを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、添付のネットワークプリンタユーティリティの「管理者ユーティリティ」の「NetWare設定ウィンドウ」を参照)にて接続するファイルサーバを特定してください。
また、Netwareプリントサーバ機能を無効にしたい場合は、存在しないファイルサーバ名を指定して使用してください(例　「DISABLE」)。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

このLANボードはNetWare 3.11J／3.12J／4.1J／4.11Jに対応しています。

このLANボードはNetWare 3.x(バインダリエミュレーション)またはNetWare 4.x(NDS)のどちらか一方のモードでのみ動作します。



NetWare 4.1J／4.11Jでは次の順序でセットアップを行います。
NetWare 3.11J／3.12Jでのセットアップについては28ページを参照してください。

NetWare 4.1J/4.11Jでのセットアップ

NetWare 4.1JおよびNetWare 4.11J(IntranetWare)でのセットアップの方法を次に示します。

設定の前に

NetWareシステムにNDSモードでプリンタをインストールする際には、以下の点を考慮して設定をしてください。

１、各オブジェクトの名前について

(1) このLANボードは、プリントサーバ名、プリンタ名として日本語(2バイト系文字)は使用できません。以下に示す文字を使用してください。

(2) このLANボードは、日本語(2バイト系文字)のキュー名をサポートしておりません。LANボード用のキューを作成する時は、以下に示す文字を使用してください。

使用できる文字
半角大文字英数字、括弧( )、ハイフン －、アンダバー ＿

２、各オブジェクトのコンテキストの長さについて

(1) プリントサーバオブジェクトのコンテキスト名の長さ
プリントサーバのコンテキスト名の長さは、192文字以内でご使用願います。
コンテキスト名は、日本語をサポートしておりませんので、半角英数字で構成されるコンテナ名上に作成してください。コンテキスト名の文字数は、ネームタイプ付き名前として数えてください。

組織＝NECの下にある部門＝MARKETING上にPRINTSERVERという名前のプリントサーバを作成したとき、プリントサーバのコンテキストは、

CN=PRINTSERVER.OU=MARKETING.O=NEC

となり文字数は33文字になります。

(2) プリンタオブジェクトのコンテキスト名の長さ
プリンタのコンテキスト名の長さは、192文字以内でご使用願います。
プリンタコンテキスト名は、日本語をサポートしておりませんので、半角英数字で構成されるコンテナ名上に作成してください。
LANボードがサポートするプリンタ台数は１台です。プリントサーバにプリンタを２台以上割り当てないでください。

プリンタのコンテキスト名の文字数は、ネームタイプ付き名前として数えてください。

LANPRINTERというプリンタが、部門＝MARKETINGに定義されているときプリンタのコンテキストは、

CN=LANPRINTER.OU=MARKETING.O=NEC

となり文字数は32文字になります。

(3) プリントキューの識別名の長さ
プリントキューの識別名の長さは、合計192文字以内でご使用願います。
識別名には、キューの一般名も含みます。複数のキューが定義されているときは、それぞれの識別名の合計になります。
キューコンテキストは、日本語をサポートしておりませんので、半角英数字で構成されるコンテナ名上に作成してください。

識別名の長さの数え方
以下の識別名を持つ２つのキューが定義されている場合
（識別名には、キュー名も含まれます）

名前Q１というキューが、部門＝ＭＡＲＫＥＴＩＮＧの配下の部門＝GROUP1に定義され、名前Q2というキューが、部門＝MARKETING2の配下の部門＝GROUP2に定義されているとき、識別名はそれぞれ

CN=Q1.OU=GROUP1.OU=MARKETING.O=NEC（34文字）
CN=Q2.OU=GROUP2.OU=MARKETING.O=NEC（34文字）

となり識別名の合計の長さは68(=34+34)文字になります。



3、ファイルサーバの設定について

プリントサーバが登録されているファイルサーバで以下の設定を確認の上ご使用願います。

1　サーバのコマンドプロンプトで
　LOAD INETCFG ⏎
を実行します。
2　[プロトコル]を選択します。
3　[IPX]を選択します。
4　[アドバンスト IPX：]を選択し[使用可能]にします。
[パケット転送：]を使用可能にします。
[ルーティングプロトコル]の[RIP/SAP専用]を選択します。

OSへの設定をする

まず初めにNetWare OSへの設定を行います。設定はプリントサーバモードとリモートプリンタモードの2つの方法があります。

プリントサーバモードのセットアップ

プリントサーバモードでNetWare OSに設定します(リモートプリンタモードで設定するときは21ページを参照してください)。

PCONSOLEによる設定(プリントサーバクイックセットアップ)

Netwareアドミニストレータで設定するときは15ページへ進んでください。

1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。

2 NetWareユーティリティPCONSOLEを実行します。

```
PCONSOLE ⏎
```

利用可能な項目画面の[プリントサービスクイックセットアップ]を選択し、新しいプリントサーバ名、新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名を入力します。プリントサーバ名やそれぞれの名称には、半角英数大文字で任意の名前を入力してください。



プリントサーバ、プリンタ、プリントキューのそれぞれのオブジェクトは同一ディレクトリに作成してください。

これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANボード)の設定(24ページ)へ進んでください。

NetWareアドミニストレータによる設定(プリントサーバ)

1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。

2 NetWareアドミニストレータを実行します。

NetWareアドミニストレータの実行方法については、NetWare4.1Jのマニュアルを参照してください。

3 プリントサーバを作成します。

プリントサーバを作成するコンテナオブジェクトにカーソルを移動します。



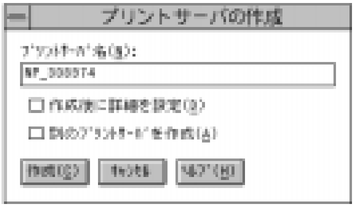
[オブジェクト]メニューから[作成]を選択します。



新しいオブジェクトクラス画面のプリントサーバを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



プリントサーバの作成画面のプリントサーバ名(任意)を入力し、[作成]ボタンをクリックします。



プリントサーバ名(任意)は、半角英数文字で入力してください。

これでプリントサーバが作成できました。

4 プリントサーバの作成と同様の手順でプリンタを作成します。

プリントサーバを作成したコンテナオブジェクトにカーソルを移動し、メニューバーの[ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ]の[作成]を選択します。

新しいオブジェクトクラス画面の[ﾌﾟﾘﾝﾀ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



プリンタの作成画面のプリンタ名に任意の名前を入力し、[作成]ボタンをクリックします。



これでプリンタが作成できました。

5　プリントサーバ、プリンタの作成と同様の手順でプリントキューを作成します。

プリントサーバ、プリンタを作成したコンテナオブジェクトにカーソルを移動し、メニューバーの[ｵﾌﾞｼﾞｪｸﾄ]の[作成]を選択します。

新しいオブジェクトクラス画面のプリントキューを選択し、［ＯＫ］ボタンをクリックします。



プリントキューの作成画面ではディレクトリサービスキューを選択し、プリントキュー名に、半角英数大文字で任意の名前を入力します。



プリントキューの作成画面のプリントキューボリュームのコンボボックスをクリックし、オブジェクトの選択画面でオブジェクトに表示されたサーバを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



プリントキューの作成画面で[作成]ボタンをクリックします。



これでプリントキューが作成できました。

6　プリントサーバにプリンタを割り当てます。

ツリー上に設定されたプリントサーバを選択して、



[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ]ウィンドウを表示させます。



[割り当て]ボタンをクリックします。



［追加］ボタンをクリックします。

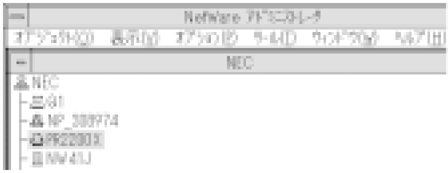


先ほど作成したプリンタを選択します。



これでプリントサーバにプリンタが割り当てられました。

7 ツリー上に設定されたプリントサーバを選択し、プリントサーバへのプリンタの割り当てと同様の手順でプリンタにプリントキューを割り当てます。





これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANボード)の設定(24ページ)へ進んでください。

リモートプリンタモードのセットアップ

リモートプリンタモードでNetWare OSに設定します(プリントサーバモードで設定するときは14ページを参照してください)。

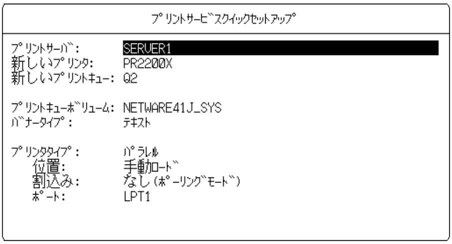
PCONSOLEによる設定(リモートプリンタクイックセットアップ)

1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。

2 NetWareユーティリティPCONSOLEを実行します。

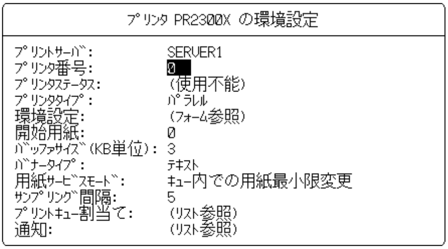
```
PCONSOLE ⏎
```

利用可能な項目画面の[ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ]を選択し、プリントサーバ名、新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名を入力します。プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名(PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名)を入力します。



- **既に存在するプリントサーバを選択する場合には、そのプリントサーバ名を選択し、新規に作成する場合には半角英数大文字の任意な名前を入力してください。新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名には、半角英数大文字で任意な名前を入力してください。**
- **プリントサーバ、プリンタ、プリントキューのそれぞれのオブジェクトは同一ディレクトリに作成する必要があります。**

3 利用可能な項目画面の[ﾌﾟﾘﾝﾀ]を選択し、プリンタ番号(リモートプリンタ番号)を0〜255の範囲で設定してください。



これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANボード)の設定(24ページ)へ進んでください。

NetWareアドミニストレータによる設定(リモートプリンタ)

1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。

2 NetWareアドミニストレータを実行します。

NetWareアドミニストレータの実行方法についてはNetWare4.1Jのマニュアルを参照してください。

3 プリントサーバ、プリンタ、プリントキューを作成し、割り当てます。

プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名(PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名)を入力します。

プリントサーバの作成画面では、既に存在するプリントサーバを選択する場合には、そのプリントサーバ名を選択し、新規に作成する場合には、半角英数大文字の任意な名前を入力してください。

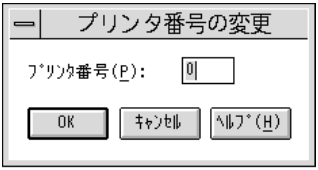
15ページの「NetWareアドミニストレータによる設定(プリントサーバ)」を参照し、プリントサーバ、プリンタ、プリントキューの作成・割り当てを行ってください。

4 プリンタ番号(リモートプリンタ番号)を設定します。

ツリー上に設定されたプリントサーバを選択し、[割り当て]ボタンをクリックします。プリントサーバに割り当てたプリンタを選択して、[ﾌﾟﾘﾝﾀ番号]ボタンをクリックします。



プリンタ番号を0～255の範囲で設定します。



これでNetWare OSへの設定は終了です。続いてプリンタ(LANボード)の設定(24ページ)へ進んでください。

プリンタ(LANボード)の設定をする

LANボードを内蔵したプリンタ(以下「プリンタ」)の設定を添付のネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)を使用して行います。

ユーティリティをインストールしていない場合は、別冊の「ネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)取扱説明書」を参照してインストールしてください。

1 アドミニストレータ特権のユーザAdmin(NDSモード)としてログインします。

2 管理者ユーティリティを起動します。

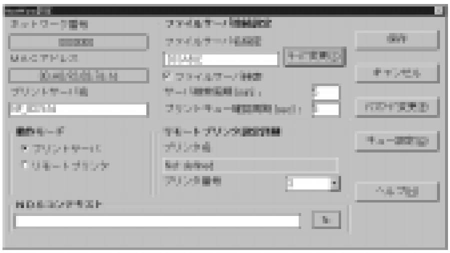
管理者ユーティリティウィンドウが表示されます。

3 設定するプリンタを選択して、[NetWare]ボタンをクリックします。

NetWare設定ウィンドウが表示されます。



4 「OSへの設定をする」で設定したプリントサーバ名を入力します。



5 [ファイサーバ接続設定]の[ファイルサーバ名指定]にファイルサーバ名を入力するか[サーバ変更]を押しファイルサーバリストから選択します。

6 プリンタの動作モードを選択します。

リモートプリンタモードで使用する場合は、リモートプリンタ設定詳細でプリンタ番号を選択します。

リモートプリンタ名はPCONSOLEで設定してあるプリンタ名を表示します。NDSモードで使用する場合はこの後の説明を、バインダリエミュレーションモードで使用する場合は次ページを参照してください。

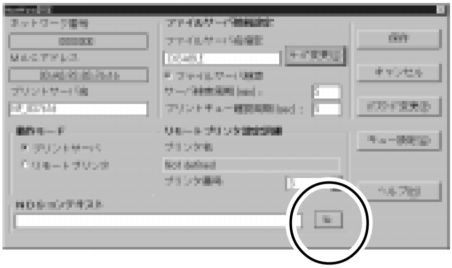
このLANボードはNetWare 3.x(バインダリエミュレーション)またはNetWare 4.x(NDS)のどちらか一方のモードでのみ動作します。

NDSの設定

前ページから引き続いて設定してください。

1 NDSコンテキスト設定の参照ボタンをクリックします。

[NDSｺﾝﾃｷｽﾄ]ウィンドウを表示します。



2 [コンテキスト選択]でプリントサーバを定義したコンテキストを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



画面からプリントサーバが登録されているNDSコンテキストを選択して[OK]ボタンをクリックすると選択コンテキストがNDSコンテキスト欄に入力されます。[キャンセル]ボタンをクリックすると設定内容を保存せず[NDSコンテキスト]ウィンドウを閉じます。

■　コンテキスト

現在選択しているコンテキストを表示します。

■　コンテキスト選択

- 組織、部門オブジェクトをダブルクリックすると、その部門のコンテキストへ移動し、そのコンテキスト上のプリントサーバを表示します。同時に選択しているコンテキストが[コンテキスト]欄に自動的に入力されます。
- プリントサーバは表示のみで選択、設定はできません。

設定したプリントサーバが画面に表示されていることを確認してください。

3　入力したコンテキストを確認後、[保存]ボタンをクリックして設定を保存します。

4　管理者ユーティリティを終了します。

5　テスト印刷をして正しく印刷されることを確認します。

サーバ側のモニターでログインしていることを確認してください。ログインには約5分かかります。

以上でセットアップは終了です。

バインダリエミュレーションの設定

25ページから引き続いて設定してください。

1　[NDSｺﾝﾃｷｽﾄ]ウィンドウに何も入力されていないことを確認します。



このウィンドウに文字が入力されていると、NDSで動作します。

2 ［ファイサーバ接続設定］の［ファイルサーバ名指定］にファイルサーバ名を入力するか［サーバ変更］を押しファイルサーバリストから選択します。

ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANボードを使用する場合は、次のことにご留意ください。

マルチプロトコルLAN ボードに、接続ファイルサーバ名を指定せずに遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。
このようなLAN 環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLAN ボードを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、必ずファイルサーバ名を使用してください。

3 設定を保存して管理者ユーティリティを終了します。

4 テスト印刷をして正しく印刷されることを確認します。

NetWareサーバへのログインには約2分かかります。

以上でセットアップは終了です。

NetWare 3.11J/3.12 Jでのセットアップ

NetWare 3.11J／3.12Jでのセットアップでは添付のNetWare用ネットワークプリンタユーティリティを使用します。

プリンタユーティリティをインストールしていない場合は、別冊の「ネットワークプリンタユーティリティ（NetWare版）取扱説明書」を参照してインストールしてください。

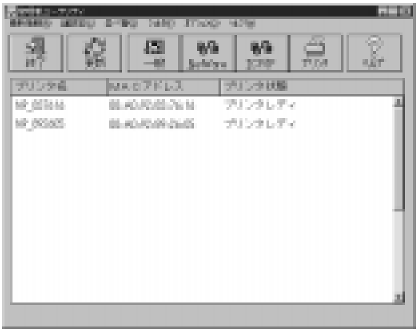
1 スーパバイザ特権のユーザとしてログインします。

2 管理者ユーティリティを起動します。

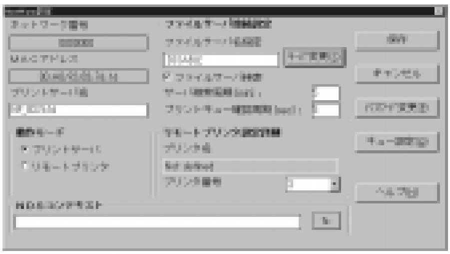
管理者ユーティリティウィンドウが表示されます。

3 設定するプリンタを選択して[NetWare]ボタンをクリックします。

NetWare設定ウィンドウが表示されます。



4 動作モードを選択します。



5 ［ファイサーバ接続設定］の［ファイルサーバ名指定］にファイルサーバ名を入力するか［サーバ変更］を押しファイルサーバリストから選択します。

ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANボードを使用する場合は、次のことにご留意ください。

マルチプロトコルLANボードに、接続ファイルサーバ名を指定せずに遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。
このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANボードを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、必ずファイルサーバ名を使用してください。

6 プリントサーバ名を入力します。

プリントサーバ名には、リモートプリントサーバ名（PSERVER実行時に指定されるプリントサーバ専用ワークステーションプリントサーバ名）を入力します。

既に存在するプリントサーバを選択する場合には、そのプリントサーバ名を選択し、新規に作成する場合には半角英数大文字の任意な名前を入力してください。新しいプリンタ名、新しいプリントキュー名には、半角英数大文字で任意な名前を入力してください。

リモートプリンタモードで使用する場合はプリンタ番号を選択します。

7 ［ｷｭｰ設定］ボタンをクリックします。

NetWareキュー設定ウィンドウが表示されます。



8 ［ファイルサーバ名］を選択します。続いて［プリントキュー名］を選択または入力して、［追加］ボタンをクリックします。

キューが作成されます。

9 ［OK］ボタンをクリックします。

NetWare設定ウィンドウに戻ります。

10 ［ファイルサーバ接続指定］の［ファイルサーバ名指定］に接続するファイルサーバ名を入力します。

ISDNルータ等を使用し公衆回線を通して遠隔地のLANと接続した環境でマルチプロトコルLANボードを使用する場合は、次のことにご留意ください。

マルチプロトコルLANボードを、遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。
このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにLANボードを接続させる必要がない場合は、SAPパケットを遮断するか、［ファイルサーバ名設定］の入力ボックスにファイルサーバ名を入力して接続するファイルサーバ名を特定してください。

NDSコンテキストに何も入力されていないことを確認してください。

11 設定を保存して管理者ユーティリティを終了します。

12 テスト印刷をして正しく印刷されることを確認します。

NetWareサーバへのログインには約2分かかります。

以上でセットアップは終了です。

NPDLモードとESC/Pモードの切り替え

ここでは、ESC/Pエミュレーションを使用して印刷するための設定について説明します。この設定を行うことにより、NPDLプリンタドライバを持たないクライアントPCから、ESC/Pドライバを使用して印刷を行うことができます。

本設定は、NPDLおよびESC/Pエミュレーションをサポートしているプリンタのみ有効です。NPDLおよびESC/Pエミュレーションをサポートしていないプリンタに本設定を行うと誤印字する場合がありますのでご注意ください。

切り替えファイルのインストール

切り替えファイル「NECMULTI.PDF」をプリントジョブ環境に設定します。

1 スーパバイザ特権のユーザとしてログインします。

2 LANボードセットアップディスクのディレクトリ「NetWare\PDF」に入っているNECMULTI.PDFファイルをファイルサーバのSYS:PUBLICディレクトリにコピーします。

必要に応じて共有ディレクトリにコピーしてください。

プリントデバイスの登録

1 NetWareプリンタ定義ユーティリティPRINTDEFを起動します。

```
PRINTDEF ⏎
```

2 [ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞﾊﾞｲｽ]を選択し、[ﾌﾟﾘﾝﾄﾃﾞﾊﾞｲｽ取り込み]へ移ります。

3 ディレクトリを指定して⏎を押し、NECMULTI.PDFファイルを選択します。

4 PRINTDEFを終了します。

以上でプリントデバイス機能の登録は終わりです。引き続き、プリントジョブの定義を行ってください。

プリントジョブの定義

1 PRINTCONを立ち上げます。

```
PRINTCON ⏎
```

2 プリントジョブ環境名を設定します。

[ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｮﾌﾞ環境編集]ウィンドウを開き、INS を押します。
プリントジョブ環境名を入力します。
ここでは、「ESCP_JOB」と入力します。
入力したプリンタジョブ環境名[ESCP_JOB]を選択し、⏎ を押します。



3 ［ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｮﾌﾞ環境編集］ウィンドウを開き、各編集を行います。



［ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ:］を選択し、↵ を押します。

対象のキューを選択し、↵ を押します。

［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞｰ:］を選択し、↵ を押します。

対象のプリントサーバを選択し、↵ を押します。

［ﾃﾞﾊﾞｲｽ:］を選択し、↵ を押します。

［NEC_MultiWriter］を選択し、↵ を押します。

4 モードを設定します。



［ﾓｰﾄﾞ］を選択し、［ﾓｰﾄﾞ］ウィンドウを開きます。
［ESCPmode］を選択し、↵ を押します。
エミュレーションを切り替えた後はESC/Pモードで印刷処理を行い、印刷終了後NPDLモードに自動的に戻ります。

モードでは、ESC/Pモードへの切り替えのほか、用紙サイズや縮小印刷を指定することもできます。NPDLモードについても同様なモードが登録されています。

以上でプリントジョブの定義は終了です。

セットアップ　～Windows NT編～

この章では、Windows NT環境に合わせてプリンタを設定する方法について説明します。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

このLANボードは日本語版のWindows NT 3.1／3.5／3.51／4.0に対応しています。Windows NT では「NMPS(PrintAgent)」、「DLCプロトコル」または「lpr(TCP/IP)プロトコル」のどのネットワークプロトコルを使用して印刷するかによってセットアップの方法が異なります。

NMPS(PrintAgent)に対応したプリンタ*での印刷

* MultiWriter 2000X、MultiWriter 2200X、MultiWriter 2400X(1997年6月現在)

DLCプロトコルを使用した印刷

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷

NMPS(PrintAgent)対応プリンタ*での印刷

NMPSを使用しネットワークプリンタとして利用するには、LANボードにIPアドレスを設定する必要があります。LANボードにIPアドレスを設定するには、TCP/IPプロトコルがインストールされており設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NTのヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。

* MultiWriter 2000X、MultiWriter 2200X、MultiWriter 2400X（1997年6月現在）

IPアドレス設定ユーティリティを使う（Windows NT 3.51/4.0から設定）

添付のセットアップディスクにあるユーティリティ「IPSet」を使用します。Windows NT 3.5の環境で設定する方は、「Windows NT のコマンドを使う」（P51）を参照してください。

1 Windows NTを起動します。

2 LANボードセットアップディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

3 [IP set]フォルダを開き、[IPset.exe]を実行します。

[IP setﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]ウィンドウが表示されます。

4 一覧からプリンタを選択し、[IPアドレス設定]をクリックします。

[IPｱﾄﾞﾚｽ設定]ウィンドウが表示されます。



5 IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

6 設定内容を保存して、終了します。



7 続いてNMPSソフトウェアのインストールを行ってください。NMPSソフトウェアのインストールについては、プリンタのユーザーズマニュアルを参照してください。

DLCプロトコルを使用する

次の手順に従ってセットアップを行います。

- **DLCプロトコルのインストールは、プリンタに印刷データを送るWindows NTにインストールしてください。印刷データをプリンタに直接送らないWindows NTにはインストールする必要はありません。**
- **DLCプロトコルを使用した印刷では、同時に印刷できるNTの台数は2台までです。**

Windows NT 4.0へのセットアップ

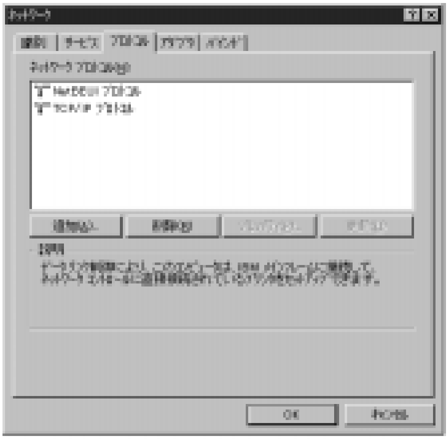
まず初めに使用するコンピュータにDLCプロトコルをインストールします。すでにDLCプロトコルをインストールされている方はプリンタのインストールへ進んでください。

DLCプロトコルのインストール

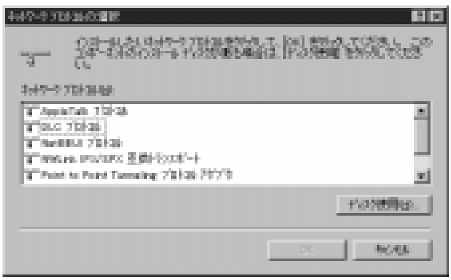
1　コントロールパネルの［ﾈｯﾄﾜｰｸ］ダイアログボックスを開きます。



2　プロトコルを選択し［追加］をクリックします。



3　［ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙの選択］で［DLCﾌﾟﾛﾄｺﾙ］を選択します。



4　画面に表示される指示に従ってインストールを完了してください。

プリンタのインストール

1 ［ﾌﾟﾘﾝﾀ］ダイアログボックスを開きます。

2 ［ﾌﾟﾘﾝﾀの追加］をクリックします。

3 ［このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。



4 ［ﾎﾟｰﾄの追加］ボタンをクリックします。

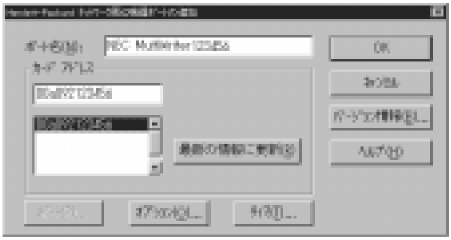


5 利用可能なプリンタポートで［Hewlett-Packard Network Port］を選択し、［新しいﾎﾟｰﾄ］ボタンをクリックします。



［Hewlett-Packard Network Port］が表示されない場合は、［DLCﾌﾟﾛﾄｺﾙ］サービスをインストールしてください。

6 ポート名を入力し、接続するマルチプロトコルLANボードのアドレスを選択してから[ﾀｲﾏ]をクリックします。



7 接続の[ｼﾞｮﾌﾞごと]を選択し[OK]をクリックします。



DLCプロトコルを使用した印刷では、同時に接続できるプリントサーバPCの台数は2台までです。[連続]を選択することで、接続できるプリントサーバPCは1台になり、他のプロトコルからの印刷もされなくなります。

8 画面に表示される指示に従ってインストールを完了してください。

Windows NT 3.1/3.5/3.51へのセットアップ

まず初めに使用するコンピュータにDLCプロトコルをインストールします。
すでにDLCプロトコルをインストールされている方はプリンタのインストールへ進んでください。

DLCプロトコルのインストール

DLCプロトコルを組み込むには、コントロールパネルの［ネットワーク］を使います。

1. ［コントロールパネル］アイコンをダブルクリックします。
2. ［ﾈｯﾄﾜｰｸ］をダブルクリックします。
3. ［ｿﾌﾄｳｪｱの追加］をクリックします。
4. ［ﾈｯﾄﾜｰｸｿﾌﾄｳｪｱの追加］で［DLCﾌﾟﾛﾄｺﾙ］を選択します。
5. ［ﾈｯﾄﾜｰｸ］を終了し、システムをリスタートします。
6. 再び［ﾈｯﾄﾜｰｸ］を開き、DLCプロトコルがインストールされていることを確認します。

ネットワークプリンタの作成と接続

1. コントロールパネルの［ﾌﾟﾘﾝﾀ］をダブルクリックします。
2. ［ﾌﾟﾘﾝﾀ］メニューの［ﾌﾟﾘﾝﾀの作成］コマンドを選びます。

3　［ﾌﾟﾘﾝﾀ名］ボックスに、プリンタの名前を入力します。

この名前は、プリンタウィンドウのタイトルバーに表示されます。また、ネットワーク上でプリンタを共有している場合には、プリンタに接続するときにWindows NTを実行中のネットワークユーザに対して表示されます。プリンタ名は最大32文字です。

4　［ﾄﾞﾗｲﾊﾞ］一覧から、プリンタのドライバを選択します。

プリンタが一覧に表示されないときは、互換性のあるドライバを使って、プリンタを組み込むことができます。プリンタのユーザーズマニュアルを参照して、どのドライバを選べるかを判断してください。

5　［説明］ボックスに、任意の説明文を入力します。

この説明文は、ネットワークユーザが、「利用できるプリンタ」に、そのプリンタを追加するときに表示されます。たとえば、プリンタを一定の時間中だけ使えるように設定している場合などです。

6　［印刷先］一覧から、［その他…］を選びます。

7　利用可能な印刷モニタから、Hewlett-Packard Network Portを選択し、［OK］をクリックします。

ネットワークポートが表示されない場合、DLCプロトコルが正しく組み込まれていない可能性があります。もう一度DLCプロトコルのインストールを行い、正しくインストールされているか確認してください。

コンピュータにケーブルで接続しているプリンタを組み込む場合は、ローカルポートを選択します。

8　［ﾎﾟｰﾄ名：］にネットワークプリンタのポート名を入力します。

ここでの名称が印刷先として登録されます。

（例）　PR2200XLAN

9 [ｶｰﾄﾞｱﾄﾞﾚｽ]にはプリンタのコンフィギュレーションページにNode Addressとして書かれている番号を選択します。

該当するNode Addressが表示されていない場合は、プリンタの電源がOFFになっているか、ネットワークに接続されていない可能性があります。もう一度プリンタの状態を確認してください。

10 [ﾀｲﾏ]をクリックし、接続の選択項目で[ｼﾞｮﾌﾞごと]を選択します。

DLCプロトコルを使用した印刷では、同時に接続できるプリントサーバPCの台数は2台までです。[連続]を選択することで、接続できるプリントサーバＰＣは1台になり、他のプロトコルからの印刷もされなくなります。

11 作成したプリンタをネットワーク上で共有する場合は、次の作業を行います。

[ﾈｯﾄﾜｰｸ上で共有]チェックボックスをオンにします。

[共有名]テキストボックスで、プリンタの共有名が作成されます。Windows NTを実行中のコンピュータでは、プリンタに接続すると、そのプリンタ名が調べられます。ただし、MS-DOSを実行中のコンピュータでプリンタに接続するには、MS-DOSの名前付け規則に従った共有名が必要になります。

共有名はプリンタ名に基づいて作成されます。共有名は編集できます。ただし、MS-DOSベースのコンピュータにプリンタを接続する場合は、MS-DOSの名前付け規則に従った半角12文字以内の名前にしなければなりません。

自分の文書が印刷されるプリンタの場所がユーザにわかるように、[設置場所]テキストボックスにプリンタの場所の説明を入力します。利用できるプリンタの一覧にプリンタを追加すると、そのプリンタの設置場所が[ﾌﾟﾘﾝﾀの接続]ダイアログボックスに表示されます。

[OK]をクリックします。

以上でネットワークプリンタの作成は終了です。

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用する

lpr(TCP/IP)プロトコルを使用した印刷を行うための方法を次に示します。

- **lpr(Microsoft TCP/IP印刷サービス)のインストールは、プリンタに印刷データを送るWindows NTにインストールしてください。印刷データをプリンタに直接送らないWindows NTにはインストールする必要はありません。**
- **lprを使用した印刷では、同時に印刷できるNTの台数は8台までです。**

Windows NT 4.0へのセットアップ

まず初めに使用するコンピュータにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている方はプリンタの「lpr互換プリンタのインストール」へ進んでください。

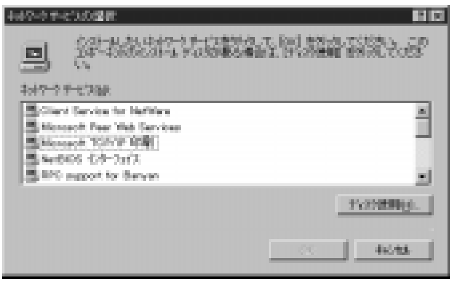
Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされており設定が完了している必要があります。
TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NTのヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。

1. コントロールパネルの[ﾈｯﾄﾜｰｸ]ダイアログボックスを開きます。

2. サービスを選択し、[追加]ボタンをクリックします。

3. [ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ]の一覧から[Microsoft TCP/IP印刷]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



4. 画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

lpr互換プリンタのインストール

lpr互換プリンタのインストールについては、Windows NTのヘルプ「LPR 互換プリンタをインストールするには」も併せて参照してください。

1 [ﾌﾟﾘﾝﾀ]ダイアログボックスを開きます。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加]をクリックします。

3 [このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]をクリックし、[次へ]をクリックします。



4 [ﾎﾟｰﾄの追加]をクリックします。



5 [LPR Port]をクリックし、[新しいﾎﾟｰﾄ]をクリックします。



[LPR Port]が表示されない場合は、[Microsoft TCP/IP 印刷]サービスをインストールしてください。

6 [lpdを提供しているｻｰﾊﾞｰの名前またはｱﾄﾞﾚｽ]ボックスに、追加するプリンタのホストのDNSネームまたは IPアドレスを入力します。

7 [ｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾌﾟﾘﾝﾀ名、またはｻｰﾊﾞｰのﾌﾟﾘﾝﾀｷｭｰ名]ボックスに、ホストがプリンタを識別するための名前を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

8 画面に表示される指示に従って、LPR互換プリンタのインストールを完了してください。

9 続いてIPアドレスを設定する（50ページ）へ進んでLANボードにIPアドレスを設定してください。

Windows NT 3.5/3.51へのセットアップ

まず初めに使用するコンピュータにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている方はプリンタの「ネットワークプリンタの作成と接続」へ進んでください。

TCP/IPネットワーク印刷サポートのインストール

次の手順でインストールを行います。

1 コントロールパネルの[ﾈｯﾄﾜｰｸ]をダブルクリックします。

[ﾈｯﾄﾜｰｸ]ダイアログボックスが表示されます。

2 [ｿﾌﾄｳｪｱの追加]ボタンをクリックします。

[ﾈｯﾄﾜｰｸｿﾌﾄｳｪｱの追加]ダイアログボックスが表示されます。

3 [ﾈｯﾄﾜｰｸｿﾌﾄｳｪｱ]の一覧から[TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙおよび関連ｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ]を選択し、[続行]ボタンをクリックします。

4 [Windows NT TCP/IP組み込みｵﾌﾟｼｮﾝ]ダイアログボックスで、[TCP/IPﾈｯﾄﾜｰｸ印刷ｻﾎﾟｰﾄ]チェックボックスをオンにします。

[接続ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]がコンピュータにまだインストールされていない場合はチェックボックスをオンにしてください。

5 [OK]ボタンをクリックします。

Windows NT配布ファイルへのフルパスを入力するよう求めるメッセージがWindows NTセットアップから表示されます。適切なパス名を指定し、[続行]ボタンをクリックします。

ネットワークプリンタの作成と接続

次の手順でネットワークプリンタの作成と接続を行います。

1 コントロールパネルの［ﾌﾟﾘﾝﾀ］をダブルクリックします。

2 ［ﾌﾟﾘﾝﾀ］メニューの［ﾌﾟﾘﾝﾀの作成］コマンドを選びます。

3 ［ﾌﾟﾘﾝﾀ名］ボックスに、プリンタの名前を半角32文字以内で入力します。

この名前は、プリンタウィンドウのタイトルバーに表示されます。また、ネットワーク上でプリンタを共有している場合には、プリンタに接続するときにWindows NTを実行中のネットワークユーザに対して表示されます。

4 ［ﾄﾞﾗｲﾊﾞ一覧］から、プリンタのドライバを選択します。

プリンタが一覧に表示されないときは、互換性のあるドライバを使って、プリンタを組み込むことができます。プリンタのマニュアルを参照して、どのドライバを選べるかを判断してください。

5 ［説明］ボックスに、任意の説明を入力します。

この説明は、ネットワークユーザが、利用できるプリンタに、そのプリンタを追加するときに表示されます。この説明を使って、ネットワークユーザにプリンタ情報を通知します。たとえば、プリンタを一定の期間中だけ使えるように設定している場合などは、その情報をここに説明として入れておきます。

6 ［印刷先］一覧から、［その他…］を選びます。

7 利用可能な印刷モニタの中から、［LPR Port］を選択し、［OK］をクリックします。

8 lprを提供しているホスト名またはIPアドレスを入力します。

lprで設定しているプリンタのIPアドレスまたはホスト名（プリンタ名）を入力します。

9　設定が終了したら、[OK]をクリックします。

10　作成したプリンタをネットワーク上で共有する場合は、次の作業を行います。

[ﾈｯﾄﾜｰｸ上で共有]チェックボックスをオンにします。

[共有名]テキストボックスで、プリンタの共有名が作成されます。Windows NTを実行中のコンピュータでは、プリンタに接続すると、そのプリンタ名が調べられます。ただし、MS-DOSを実行中のコンピュータでプリンタに接続するには、MS-DOSの名前付け規則に従った共有名が必要になります。

共有名はプリンタ名に基づいて作成されます。共有名は編集できます。ただし、MS-DOSベースコンピュータにプリンタを接続する場合は、MS-DOSの名前付け規則に従った半角12文字以内の名前にしなければなりません。

自分の文書が印刷されるプリンタの場所がユーザにわかるように、[設置場所]テキストボックスにプリンタの場所の説明を入力します。利用できるプリンタの一覧にプリンタを追加すると、そのプリンタの設置場所が[ﾌﾟﾘﾝﾀの接続]ダイアログボックスに表示されます。

[OK]をクリックします。

以上でネットワークプリンタの作成は終了です。

IPアドレスを設定する

IPアドレスは、添付のLANボードセットアップディスクにあるユーティリティか、Windows NTのコマンドを使って設定できます。

IPアドレス設定ユーティリティを使う

添付のセットアップディスクにあるユーティリティ「IPSet」を使用します。このユーティリティはWindows NT 3.51/4.0またはWindows 95で使用できます。

- **Windows NTでこのファイルを使用する場合は、利用者がAdministratorの権限(アカウント)を持っていなければなりません。**
- **プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがIPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。**

1 Windows NT(またはWindows 95)を起動します。

2 LANボードセットアップディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

3 [IP set]フォルダを開き、[IPset.exe]を実行します。

[IP setﾕｰﾃｨﾘﾃｨ]ウィンドウが表示されます。

4 一覧からプリンタを選択し、[IPアドレス設定]をクリックします。

[IPｱﾄﾞﾚｽ設定]ウィンドウが表示されます。



5 IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

6 設定内容を保存して、終了します。



Windows NTのコマンドを使う

- **ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、プリンタのコンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ってLANボードの設定をクリアしないと再度同じ方法では設定できません（コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアの方法については3ページを参照）。**
- **コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアを行うと、他のOSの設定もクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。クリアを行う前に、コンフィギュレーションページを印刷して設定を控えておいてください。**
- **プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがIPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。**

1 プリンタの電源をOFFにし、再度電源をONにします。

2 NTコマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行します。

```
>route add 11.22.33.44 <NTシステムのPCのIPアドレス>
```

（実行例）

```
>B:¥users¥default¥route add 11.22.33.44
    123.123.123.123
```

3 pingコマンドを実行します。

```
>ping 11.22.33.44
```

以下のような画面が表示されます。

（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:

Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

4 arpコマンドを実行します。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

以下のような画面が表示されます。

（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.123
  Internet Address    Physical Address    Type
  11.22.33.44         00-a0-92-12-34-56   dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンタの物理アドレスが表示されます。複数のプリンタが接続されている場合には、その中の一つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンタの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5 IPアドレスをWindows NTシステムへ登録します。
以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s <プリンタに設定するIPアドレス>
        <設定するプリンタの物理アドレス>
```

（実行例）

```
>B:¥users¥default¥arp -s 123.123.123.001 00-a0-92-
        12-34-56
```

6 pingコマンドを実行します。

```
>ping　＜プリンタに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>B:¥users¥default¥ping 123.123.123.001
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

続いて他のプリンタのIPアドレスを変更する場合は、

```
>arp -d 11.22.33.44
```

を実行後、手順*3*から設定を行ってください。

セットアップ　～Windows 95編～

この章では、Windows 95からネットワークプリンタへのサーバを使用せず直接印刷するための設定について説明します。

Windows 95から印刷するためにはNMPS(PrintAgent)ソフトウェアまたはNEC TCP/IP Printing Systemを使用します。これらソフトウェアで印刷する前に、あらかじめ　LANボードにIPアドレスを設定する必要があります。
はじめにLANボードにIPアドレスを設定後、各ソフトウェアをインストールしてください。

サーバを経由せずWindows 95から印刷する場合、次の点について注意してください。

- **サーバを経由しない印刷では、Windows 95クライアントごとにプリンタに印刷要求を行います。**
- **サーバを使用せず直接プリンタに印刷データを送信するWindows95 Peer to Peerネットワーク印刷環境において、プリンタが処理できる印刷要求は、同時に8個までです。**
- **複数のPCからの印刷要求がプリンタに送られた場合、または多数の印刷要求をプリンタが受け付けている場合、PCの画面に印刷要求を処理できないことを知らせる通知メッセージが表示されることがあります。この通知が表示されると、通知された印刷データは破棄されます。他の印刷が終了した後、再度印刷を実行してください。**
- **複数のPCから印刷要求を受け付けている場合、印刷する順番は印刷実行の順番とは限りません。**

プリンタのIPアドレスの設定

セットアップを行う前にWindows 95のネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。TCP/IPプロトコルが組み込まれていない場合は、Windows 95のマニュアルを参照してプロトコルを組み込んでIPアドレスを設定してください。

IPアドレスを設定する

Windows 95よりネットワーク対応プリンタのIPアドレスを次の手順に従い設定します。IPアドレスは、添付のLANボードセットアップディスクにあるユーティリティ「IP Set」を使って設定します。

プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがIPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。

1. Windows NT(またはWindows 95)を起動します。

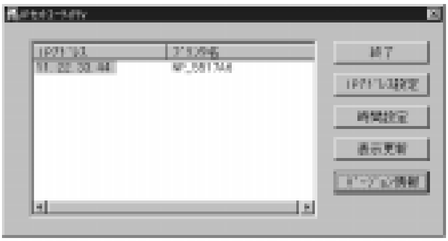
2. LANボードセットアップディスクをフロッピィディスクドライブにセットします。

3. [IP set]フォルダを開き、[IPset.exe]を実行します。

   [IP setユーティリティ]ウィンドウが表示されます。

4. 一覧からプリンタを選択し、[IPアドレス設定]をクリックします。

   [IPアドレス設定]ウィンドウが表示されます。



5. IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

6. 設定内容を保存して、終了します。



7. 続いてNMPS(PrintAgent)ソフトウェアまたはNEC TCP/IP Printing Systemのソフトウェアをインストールしてください。

   NMPS(PrintAgent)ソフトウェアのインストールについてはプリンタのユーザーズマニュアルを参照してください。

NEC TCP/IP Printing Systemソフトウェアを使用する方は次項へ進んでください。

NEC TCP/IP Printing Systemのインストール

Windows 95をインストールしたコンピュータを使って添付のLANボードセットアップディスク内のディレクトリ「Win95」のsetup.exeを実行します。
その後のインストール操作は、画面に表示されるメッセージに従って行います。

インストールについての詳細については、LANボードセットアップディスク内のreadme.txtまたはreadme.docを参照してください。

レ **readme.docはWindows 95のワードパットアプリケーションで開けます。**
レ **不慮の事故に備えて、インストールの前に必ずバックアップコピーを行ってください。**

インストールの方法

NEC TCP/IP Printing Systemのインストール作業をはじめます。次の手順にしたがって、インストールを行なってください。

1. Windows 95を起動します。
2. NEC TCP/IP Printing Systemインストーラディスクを3.5インチFDドライブにセットします。
3. インストールプログラム「setup.exe」を起動します。
   起動は次のいずれかの方法で行なうことができます。

■ エクスプローラから起動する場合

1. エクスプローラのフォルダ情報より[3.5ｲﾝﾁFD]を選択します。
2. インストールプログラム「setup.exe」を選択してダブルクリックします。

3　「NEC TCP/IP Network Printing Systemインストーラが起動します。

■ ファイル名を指定して実行する場合

1　[スタート]ボタンをクリックし[ﾌｧｲﾙ名を指定して実行]を選択します。

2　インストールプログラム「setup.exe」のフルパス名を[名前]入力欄に入力します。

3　[OK]ボタンを選択すると「NEC TCP/IP Network Printing System インストーラ」が起動します。

4　インストーラ起動後は、ウィザード画面に従い設定を行います。

5　IPアドレス登録画面では、「プリンタの作成」で必要となるプリンタポートを作成し登録します。

既にプリンタにIPアドレスが割り付けられている場合にインストーラの中でプリンタポートとして使用されるIPアドレスを事前に登録することができます。

IPアドレスの登録はインストール完了後もプリンタプロパティ画面で行なえます。

(1) [IPｱﾄﾞﾚｽ入力]部にプリンタに割り付けたIPアドレスを入力します。

(2) 正しく入力が完了しましたら、[追加]ボタンを選択してください。

IPアドレス登録画面上で追加できるIPアドレスは、 最大10個までです。それ以上の登録を行なった場合、再起動時のシステムの動作に影響を及ぼす可能性があります。その際生じました障害につきましては、動作保証の対象外となります。

(3) 登録を間違えた場合は、IPアドレス一覧より削除するIPアドレスを選択し[削除]ボタンを選択してください。



6 インストール完了後 Windows 95 Network Printing Systemを動作させるためにはコンピュータの再起動が必要です。

「プリンタの作成」を行う前に、必ずコンピュータの再起動を行ってください。

プリンタの作成

NEC TCP/IP Printing Systemを使用するためのプリンタをWindows 95上に作成します。

インストールはWindows 95のプリンタウィザードの画面にしたがって行います。

1 [スタート]ボタンの[設定] または[マイコンピュータ]アイコンより[プリンタ]を選択します。

2 次に、[プリンタの追加]をクリックします。

プリンタウィザードが現れますので、以下の手順で設定を行ってください。

(1)　"接続されるプリンタ設定"画面で[ローカルプリンタ]を選択します。

(2)　[プリンタ製造元とモデル選択]画面で適切なプリンタの選択を行います。

(3)　[利用できるポート選択]画面でプリンタポートを選択します。

- インストーラで既にＩＰアドレスが登録されている場合
選択画面上に "IPアドレス(TCP/IP port)" が表示されます。
ex."123.45.6.123 (TCP/IP port)"

希望するIPアドレスのプリンタポートを選択してください。

- IPアドレスが未登録の場合、「LPT１：」を選択し、下記プリンタポートの追加手順に従いプリンタプロパティ画面でプリンタポートを作成してください。

(4)　プリンタウィザードの画面に従い、プリンタを作成します。

プリンタポートの追加方法

「項2.インストーラ」のＩＰアドレス登録画面でプリンタポートを作成しなかった場合、または追加でプリンタポートを作成する場合の方法を示します。

この操作は、プリンタのプロパティ画面で行います。

1　プリンタのプロパティ画面を開きます。

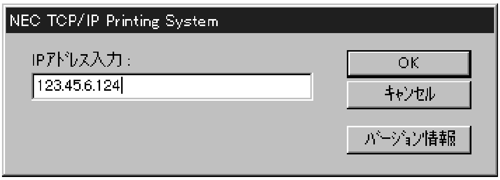
2　[詳細]を選択します。

3　[詳細]画面中の[ポートの追加]を選択します。

4　[ポートの追加]画面で下のように「その他」-「NEC TCP/IP Printing System」を選択します。



5　[OK]を選択すると次の画面が現れます。
ここで、ネットワーク対応プリンタに割り付けたIPアドレスを入力します。



ネットワーク対応プリンタへのIPアドレス設定が行われていない場合は、「IPアドレスの設定」を参照してください。

6　[OK]を選択すると新しいポートが作成されます。

7　以上で設定は完了です。

プロパティの[情報]画面で[印字テスト]を選択し、設定が正しく行われたことを確認してください。

セットアップ　～LAN Manager編～
～LAN Server編～

この章では、LAN Manager/LAN Server環境に合わせてプリンタを設定する方法について説明します。

使用環境に合わせたセットアップを選ぶ

このLANボードおよびソフトウェアは日本語版のLAN Manager／LAN Serverに対応しています。
セットアップの方法はOSのバージョンによって異なります。使用環境に合った説明を参照してください。

LAN Manager 2.1/LAN Server 3.0 へのセットアップ

LAN Manager 2.1／LAN Server 3.0へのセットアップの方法を説明します。

ソフトウェアのインストール

添付のLANボードセットアップディスクにあるファイルをインストールします。

1 ソフトウェアをサーバにインストールするため、ディレクトリを作成します。

```
>MKDIRA:\NECPR ↵
```

2 付属のセットアップディスクをフロッピィディスクドライブに入れ、ディレクトリ名lanman.OS2へ移ります。

```
>CD lanman.OS2 ↵
```

3 ディスレクトリの中のファイルのすべてを手順*1*で作成したディレクトリにコピーします。

以下のファイルがコピーされます。

addport.cmd ･･･ サーバにポートを追加します。
delport.cmd ･･･ 不要なポートを削除します。
portchg.exe ･･･ ポートを追加および削除するとき、いっしょに使われます。
remprt3.exe ･･･ ネットワーク印刷を実行するプログラムです。
rembeu.exe ･･･ ネットワーク印刷を行うためのドライバです。
remstat3.exe ･･ ネットワーク印刷用ドライバをアンロードするとき使用します。

4 サーバ上のOS/2コマンドアイコンの中のOS/2全画面プロンプトを開きます。

```
>CD NECPR ↵
```

5 先ほど作成したディレクトリに移ります。

```
>ADDPORT PR2200 ↵
```

6 ADDPORTコマンドでネットワークプリンタ用ポートを作成します。（文字数は7文字までにしてください。）

コマンド実行後、\PIPE\PR2200というポートが作成されます。\PIPEは自動的に付加されます。

7 続いて、ネットワークプリンタサービス開始時に、ネットワーク上のプリンタと手順6で作成したネットワークプリンタ用ポートを関連づけるINIファイル(ここではNECPR.INI)を作成します。

（定義）

```
＜プリンタのNetbios名＞　＜ネットワークプリンタ用ポート名＞
```

プリンタのNetbios名

　　"NECPRA092 "+＜*Node Number末尾6ケタ*＞

　　例えば、Node Addressが「00:A0:92:30:83:64」のときのプリンタのNetbios名は「NECPRA092308364」となります。

（NECPR.INIファイル例）

```
NECPRA092308364  PR2200
```

8 作成したネットワークプリンタを立ち上げ、OS/2コマンドプロンプトで次のコマンドラインを入力します。

（例）

```
REMPRT3 @NECPR.INI
```

または、

```
REMPRT3 NECPRA092308364 PR2200
```

サーバ始動時にネットワークプリンタを立ち上げるように設定する場合は、STARTUP.CMDファイルの最後の行に追加してください。

以上でソフトウェアのインストールは終了です。続いてネットワークプリンタの作成・変更を行います。

ネットワークプリンタの作成・変更

ここでは、各ネットワークに対するプリンタの設定方法について簡単に説明します。詳細については、オンラインヘルプマニュアルを参照してください。

LAN Manager 2.1を使用する場合

1. プリントマネージャの[設定]メニューの[プリンタ]を選択します。

   [プリンタ]ダイアログボックスが現れます。

2. [作成]または[変更]を選択します。

3. [名前]、[説明]テキストボックスに記入後、[装置]ボックスの下向きの矢印ボタンをクリックします。

4. 一覧の中から、インストールで作成した[\PIPE\PR2200]を選択します。

   必要に応じてプリンタドライバを設定後、終了してください。

5. プリントマネージャの[設定]メニューの[待ち行列]を選択します。

   待ち行列ダイアログボックスが現れます。

6. [追加]または[変更]を選択します。

7. [名前]、[説明]テキストボックスに記入後、[待ち行列ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]ボックスから[LMPRINT]を選択します。

8. 必要に応じて他のボックスも設定後、終了します。

LAN Server 3.0を使用する場合

1. テンプレートホルダを開きます。

2. プリンタを選択して、それをホルダまたはデスクトップの使用可能な場所にドロップします。

3. [名前]フィールドに名前を入力します。

4. [省略時ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞ]フィールドから[NECNULLﾄﾞﾗｲﾊﾞ]を選択します。

5. 出力ポートとして、インストールで作成した[PR2200]を選択します。

ここでPC-PR等のプリンタドライバを選択すると正しく印刷されないことがあります。間違えないように注意してください。

6. [作成]をクリックして終了します。

セットアップ　～UNIX編～

この章では、UNIX環境へプリンタを設定する方法について説明します。

IPアドレスの設定

IPアドレスは、UNIXマシンから「ping」コマンドを使って接続し設定する方法と、Windowsマシンから添付のLANボードセットアップディスクを使って設定する方法があります。
ネットワーク上にWindowsマシンが接続されている場合は、Windowsマシンから添付のディスクを使うと簡単に設定することができます。詳しくは50ページを参照してください。

ここでは「ping」コマンドを使った設定方法を示します。
あらかじめホストマシン側のAPRアドレス変換テーブルにプリンタのAPRエントリを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

- **ここで示す方法でIPアドレスを一度設定すると、添付プリンタユーティリティまたはプリンタのコンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ってLANボードの設定をクリアしないと再度同じ方法では設定できません（コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアの方法については3ページを参照）。**
- **コンフィギュレーションページ印刷ボタンを使ったクリアを行うと、他のOSの設定もクリアされ工場出荷時の設定に戻ります。クリアを行う前に、コンフィギュレーションページを印刷して設定を控えておいてください。**
- **プリンタにIPアドレスを設定する場合は、プリンタとプリンタにIPアドレスを設定するために使うコンピュータがIPルータ等を介さないローカルな環境で行ってください。**

以下の手順に従ってIPアドレスを変更してください。

1 エディタを使用して、ホストコンピュータの/etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を追加します。

```
ddd.ddd.ddd.ddd ホスト名>
```

“ ddd.ddd.ddd.ddd ”はプリンタの変更したい新しいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンタ名を入力してください。

設定されるプリンタのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンタのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

（UNIXの/etc/hostsファイルの表示例）

```
        :                :                 :
192.9.200.20      pr2200     #MultiWriter2200X
        :                :                 :
        :                :                 :
```

“ 192.9.200.20 ”はプリンタのIPアドレスです。
“ pr2200 ”はプリンタのホスト名です。
“ #MultiWriter2200 ”はコメント文です。

2 ホストコンピュータのアドレス変換テーブルにプリンタのエントリを追加します。

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順*1*で指定したプリンタのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィギュレーションページのNode Addressの値を入力してください。

（実行例）

```
arp -s pr2200 00:00:4C:11:22:33
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

3 新しいIPアドレスを使用してpingコマンドを実行します。

```
ping pr2200X
```

これで、新しいIPアドレスに 変更されました。

4 コンフィギュレーションページを出力してIPアドレスが変更されたことを確認します。

ホストコンピュータ側のセットアップ

「lprコマンド」、「ftpコマンド」のいずれを使用する場合も、プリンタのIPアドレスとホスト名のhostsファイルへの登録は最低限必要です。

IPアドレスを登録すると、ftpコマンドが使用可能になります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピュータ側のprintcapファイルでリモートプリンタとなるプリンタを定義する必要があります。また、プリンタが持つフィルタを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルタは以下のフィルタ名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルタ名	機　　能	
lpb	フィルタ無し：	バイナリファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。
lpaf	lpaf+FF：	LFをCR+LFに変換しファイルの最後にFFコード(0C)を付加します。

その他のフィルタ名はlpbとみなされます。

プリンタには、eucコードをプリンタJISコードに変換する漢字フィルタはサポートされておりません。ホスト側で変換後、プリンタへ転送するようにしてください。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0|no convert:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:\
  :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1|ascii file:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:\
  :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2|binary with FF:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:\
  :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3|ascii with FF:\
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:\
  :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピュータの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピュータからプリンタへのファイルの転送には、「ftpコマンドによる転送」と「lprコマンドによる転送」の2つの方法があります。

ftpコマンドによる転送

ftp(file transfer protocol)コマンドとは、通常UNIX上でコンピュータ間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンタは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバ機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンタに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンタへ送られます。デフォルトはこのモードです。
ascii	プリンタでLF(0A)をCR+LF(0D0A)に変換します。
put (send)	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとしで“ FEED ”あるいは“ feed ”と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

プリンタには、eucコードをプリンタJISコードに変換する漢字フィルタはサポートされておりません。ホスト側で変換後、プリンタへ転送するようにしてください。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp pr2200X -------- （ftpコマンドを起動します。）
Connected to pr2200X
220 ready
Name(pr2200X:) ------------- （リターンキーを押します。）
230 User logged in proceed
ftp>binary --------------------- （ファイルの形式を指定します。）
200 Command okay
ftp>put data.plt ---------- （data.pltファイルを転送します。）
200 Command okay
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit ----------------------- （ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピュータ用ソフトウェアによって多少異なります。詳しくはそれぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能(lprコマンド)を使ってプリンタにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンタにフィルタを登録しておくと、そのプリンタを指定するだけでプリンタに登録されたフィルタを使用してデータの出力を行うことができます。

フィルタを指定しない場合は、ホストコンピュータから受信したデータを無変換のままプリンタに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンタに合わせておく必要があります。

プリンタ名は、ホストコンピュータの/etc/printcapファイルにプリンタを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」(72ページ)を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピュータのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピュータからは、次のようなコマンドを入力し、ファイルを転送します。

```
lpr  -Ppt0 <ファイル名>
```

「pt0」は73ページで設定したプリンタ名

ファイルの転送方法は、ソフトウェアまたはコンピュータによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

SNMP MIB-II,ホストリソースMIBサポートオブジェクト一覧

オブジェクト名	値、備考
システムグループ	
sysDescr	
sysObjectID	1.3.6.1.4.1.1750.1.1
sysUpTime	
sysContact	48バイトまでの文字を入力可
sysName	英数字のみで48バイトまで入力可
sysLocation	48バイトまでの文字を入力可
sysServices	64
IPグループ	
ipadEntAddr	
ipAdEntIfIndex	1
ipAdEntNetMask	
ipAdEntBcastAddr	1
ipAdEntReasmMaxSize	0
ホスト、デバイスグループ	
デバイステーブル	
hrDeviceindex	1
hrDeviceType	1.3.6.1.2.1.25.3.1.5
hrDeviceDescr	
hrDeviceID	1.3.6.1.4.1.1750.1.1
hrDeviceStatus	
hrDeviceErrors	サポートしていません
プリンタテーブル	
hrPrinterStatus	
hrPrinterDetectedErrrorState	

故障かな？と思ったら

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンタの故障を疑う前にこの章を参照してください。

プリンタの設定を変更したときに白紙が排出される、あるいは未印刷データを受信する場合

→ プリンタの設定を変更したときに、プリンタが無効データを受信する場合があります。プリンタの設定を変更したときに、プリンタに"データガノコッテイマス"あるいは未印刷データがあることを示すアラームランプが点灯した場合には、未印刷データの排出を行ってください。未印刷データの排出方法については、ご使用のプリンタのユーザーズマニュアルを参照してください。

NetWareをご使用の方へ

文字が正しくプリントされない

→ ワープロソフト等のアプリケーションのプリンタ設定を、使用しているプリンタの現在の動作モードに設定してください。ワープロ等で使用する場合には、キャプチャーはNOTubにしてください。

漢字をプリントしない

→ NPRINT等、プリンタドライバを経由しないでプリントする場合には、漢字が正しく印刷されない場合があります。そのようなときは、このプリンタドライバを通してファイル化したデータを転送するようにしてください。

複数のファイルサーバで1つのユーザ数が占有されてしまう
公衆回線を通してファイルサーバに接続される

→ ログインファイルサーバを固定してください(別冊のネットワークプリンタユーティリティ(NetWare版)取扱説明書を参照)。

Windows NTをご使用の方へ

lprでプリントできない

→ IPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。確認の方法として、pingコマンドを送信してください(51ページ参照)。

プリントを実行するとしばらくしてプリントマネージャに"プリンタエラー"と表示される

→ 他のジョブをプリントしている場合に起こることがあります。プリンタが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送ってください。

プリント中にキャンセルされる

→ プリントするページを少なくしてもう一度プリントしてみてください。プリントできた場合は、Windows NTのSystemディレクトリの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。

LAN Manager/LAN Serverをご使用の方へ

印刷できない

→ プリンドジョブがサーバのプリントマネージャ上で見えますか?

→ プリンタ設定の出力ポートをLPT1にして印刷できますか?

→ プリンタ設定の出力ポート「\PIPE\XXXX」が選択されていますか?

→ コンフィギュレーションページを印刷してください。INIファイルでプリンタのNetBios名とネットワークプリンタ用ポート名が同じになっていますか(65ページ参照)?

以上のことを確認して処置を行っても印刷できないときはお近くのサービス窓口にご相談ください。

UNIXシステム環境でご使用の方へ

IPアドレスが設定できない(pingコマンドが発行できない)

→ 異なるネットワークのIPアドレスを指定している場合があります。pingコマンドを発行するホストマシンのIPアドレスおよびサブネットマスクを確認してください。

ftpコマンド、lprコマンドでプリンタに接続(ログイン)できない

→ プリンタ以外のホストに接続できますか？　接続できない場合は、システムの異常が考えられます。

→ IPアドレス等がプリンタ側に登録されていない場合があります。登録を行ってください。

→ pingコマンドで接続できますか？　接続できない場合は、コンフィギュレーションページを印刷し、IPアドレス、プリンタ名を確認してください。

lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しくプリントされない

→ プリンタ側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。

→ プリンタのコードに変換されていない場合があります。eucコードをプリンタ用JISコードに変換するシェルを作成してから印刷してください。

最後のページが排出されない

→ テキストファイル等の転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンタ側で自動排出を設定するか、転送時に宛先ファイルとして「feed」を指定してください。

アフターサービスについて

保証について

LANボードには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。

また、LANボードに添付の「お客様登録申込書」に所定事項をご記入の上、登録してください。

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

プリンタの電源ケーブルおよびインタフェースケーブルが正しく接続されているかチェックします。

「トラブルシューティング」を参照してください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。電話番号、受付時間については『サービス網一覧表』をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、必ず保証書を添えてお申し込みください。

寿命について

LANボードの製品寿命は、使用年数5年です。継続使用される場合は、販売店または当社保守部門にご相談ください。

補修用部品について

LANボードの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

索　引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ら

NEC・NECホームエレクトロニクス